

長野県の「重要インフラの緊急点検」及び「3か年緊急対策」（主なもの）

分野	重要インフラの緊急点検		3か年緊急対策の考え方 及び達成目標	予算案(百万円)	
	点検内容	点検結果		H30補正	H31当初
河川	治水上支障となる樹木伐採や土砂堆積がある河川の点検	治水上支障となる樹木や堆積土のある河川が存在することが判明	氾濫が想定される範囲に多くの住宅（概ね25戸以上）や重要施設 ^{*1} のある箇所において、土砂や樹木（根を含む）の除去を実施し、氾濫発生危険を概ね解消（大町市～安曇野市 高瀬川ほか124河川） ^{*1} 役場、警察署、消防署、病院等	3,966	3,748
	水文観測・監視施設の点検 ①浸水対策・停電対策が必要な水位観測所 ②停電対策が必要な雨量観測所	水位観測所や雨量観測所において、浸水対策や停電対策の必要な箇所が判明	氾濫時に甚大な被害が予想される河川 ^{*2} に係る観測所において、機器や施設の耐水化、非常用電源整備を行い、発生時における確実な情報提供を確保（南木曾町 木曾川 南木曾観測所ほか17箇所） ^{*2} 水防法に指定された洪水予報河川や水位周知河川		
	氾濫した場合、甚大な人命被害等が生じる恐れのある河川（浸水深5m以上）の点検	重要水防箇所内で浸水深さが5m以上の河川及び直轄管理河川の合流部でバックウォーター現象による被害が発生する恐れのある河川が存在することが判明	重要水防箇所内で浸水深さが5m以上の河川及び直轄管理河川の合流部でバックウォーター現象による被害が発生する恐れのある河川において、堤防強化対策を概ね完了（飯山市 千曲川ほか3河川）		
	土砂・洪水氾濫の発生リスクが高く、緊急性の高い河川の点検	豪雨の際に、大量の土砂流下により氾濫の恐れのある河川が存在することが判明	豪雨の際に、大量の土砂流下により氾濫の恐れのある河川において、土石流対策と連携して堆積土除去を実施し、氾濫発生危険を概ね解消（茅野市・諏訪市 上川ほか8河川）するとともに、調節池の整備を加速化（安曇野市 黒沢川）		
	迅速な避難につながる河川情報提供のための点検 ①簡易型監視カメラの設置候補箇所 ②スピーカー・サイレンを堤内地側へ向ける必要があるダム ③想定最大規模降雨での洪水浸水想定区域図の作成を急ぐ河川	①河川監視カメラ設置の有効な箇所が判明 ②スピーカーを堤内地側へ向ける必要があるダムが判明 ③想定最大規模降雨に基づく浸水想定区域図の作成を急ぐ必要のある河川が判明	住宅や重要施設のある箇所に簡易型監視カメラ設置（佐久市 千曲川ほか132箇所）、ダムでスピーカーの改良（松川町 片桐ダム）、想定最大規模降雨の浸水想定区域図の作成完了（千曲市 沢山川ほか7河川）により、住民避難を強く促すための情報発信を強化		
砂防	重要交通網等のインフラ・ライフラインなどの保全対象、災害履歴、施設整備状況の観点から緊急性の高い箇所を点検	土砂災害によりインフラ・ライフラインが被災する危険性の高い箇所が存在することが判明	道路防災事業と一体となって緊急輸送路の安全性の向上を図るなど、インフラ・ライフラインを保全する砂防施設等を前倒しで整備（木曾町 万郡地区ほか29箇所）	3,792	9,973
	日常的な土砂堆積による河床上昇等で土砂・洪水氾濫等の発生リスクが高く、重要な施設などの保全対象、災害履歴、施設整備状況の観点から緊急性の高い箇所を点検	①土砂・洪水氾濫により被災する危険性が高い箇所が存在することが判明 ②人家などの直上流に存在し、緊急に対策を要する石積砂防施設が存在することが判明	①下流域で日常的な土砂堆積による河床上昇が発生している箇所において、河川断面の拡大等の事業と一体となって砂防堰堤を前倒しで整備（須坂市 八町地区ほか26箇所） ②石積砂防施設の補強等に着手（山ノ内町 地獄谷堰堤ほか12基）		
	避難路・避難所などの保全対象、災害履歴、施設整備状況の観点から緊急性の高い箇所を点検	地域の避難所や避難路に限られており、土砂災害に伴い被害が生じると避難に困難が生じる箇所が存在することが判明	防災訓練などのソフト対策と一体となって実施することで効果の発現が見込める地域において、円滑な避難を確保する砂防施設等を前倒しで整備（長和町 古町地区ほか49箇所）		
	土砂・流木を伴う洪水により被災があった溪流で、流木捕捉機能を有する砂防施設がなく、下流の氾濫域に多数の家屋や重要な施設（要配慮者利用施設・市役所・役場等）を抱える溪流を点検	砂防堰堤の設置が想定される箇所が谷底平野2km以内に存在し、溪流に透過構造を有する砂防堰堤がない等、今後流木災害が発生する危険性の高い溪流が存在することが判明	今後流木災害が発生する危険性の高い溪流において、土砂・流木捕捉効果の高い透過型砂防堰堤等を前倒しで整備（駒ヶ根市 東伊那地区ほか36箇所）		
道路	広域交通を担う幹線道路等において、土砂災害等の危険が高く、鉄道近接や広域迂回など社会的影響が大きい箇所を点検	土砂災害等の危険が高く、鉄道近接や広域迂回など社会的影響が大きい箇所があることが判明	特に落石や法面崩落等の危険性が高い箇所について、法面对策やバイパス整備による危険箇所回避等の緊急対策を概ね完了（（国）151号 阿南町 新野拡幅ほか81箇所）	15,326	15,992
	広域交通を担う幹線道路等において、大雪時に待避場所等の課題があり、大規模な車両滞留リスクがある箇所を点検	待避場所等の課題があり、大規模な車両滞留リスクがある箇所があることが判明	特に勾配が急な箇所など車両がスタックする可能性が高い箇所について、無散水消雪施設設置や道路改良による縦断修正等の緊急対策を概ね完了（（国）117号 野沢温泉村 虫生ほか71箇所）		
	広域交通を担う幹線道路等において、停電により情報が遮断され管理上支障を生じる恐れのある道路施設、道の駅等を点検	停電により情報が遮断され管理上支障を生じる恐れのある箇所があることが判明	特に避難路情報を提供する道路情報施設、避難場所として利用される道の駅、停電時にも安全な交通を確保する必要のあるトンネルについて、発電機や蓄電池による無停電対策等の緊急対策を概ね完了（（国）361号 木曾町～塩尻市 姥神トンネルほか 道路情報施設93基、道の駅9箇所、トンネル103箇所）		

長野県の「重要インフラの緊急点検」及び「3か年緊急対策」（主なもの）

分野	重要インフラの緊急点検		3か年緊急対策の考え方 及び達成目標	予算案(百万円)	
	点検内容	点検結果		H30補正	H31当初
林道	山地災害危険地区等の周辺森林において、法面崩壊・路面流亡により通行不能及び土砂災害の誘発の危険性が高い林道の箇所を点検	法面崩壊・路面流亡により通行不能及び土砂災害の誘発の危険性が高い林道が判明	拡大崩壊の恐れがあり対策の必要性が高い箇所について、林道整備（法面保護工・路面改良等）を概ね完了 （松本市 林道奈川安曇線ほか7箇所）	62	17
治山	災害が発生するおそれが高い ①山地災害危険地区 ②保安林を有する人家等に近接した地区 ③過去に土砂災害等が発生した地区 について、荒廃状況、施設整備状況の観点から緊急性の高い箇所を点検	山腹や渓流が荒廃し、土砂災害により人家等が被災する危険性が高い箇所が判明	土砂災害時に被災の可能性が高く、緊急性の高い箇所について、治山施設整備（谷止工、山腹工）を概ね完了 （茅野市 北山地区ほか24箇所）	510	795
造林	点検箇所（山地災害危険地区等）の周辺森林（集水区域）で森林整備が必要な箇所を抽出	手入れが行き届かず、そのまま放置すれば崩壊等の恐れがあり、緊急的に森林整備が必要な箇所が判明	崩壊等の恐れがあり、緊急的に整備が必要な箇所について、森林整備（間伐、人工造林等）を概ね完了 （東御市 新張地区ほか33箇所）	56	82
ため池	下流の家屋等に被害を与えるおそれのあるため池について、豪雨・耐震対策の必要性を確認	豪雨・耐震対策工事が必要なため池が判明	非常時にも農業用水の供給機能や下流の安全性を確保するため、ため池の豪雨対策や耐震化を前倒しで実施 （上田市 西塩田地区 ほか21箇所）	745	925
	ため池の利用実態を確認し、廃止が可能なため池を抽出	廃止を検討するため池が判明	非常時にも下流の安全性を確保するため、ため池廃止の工事を実施 （塩尻市 町村大沢地区 ほか9箇所）		
	ため池決壊時の氾濫解析を行い、下流の家屋や公共施設等への影響を確認	氾濫解析結果をもとに、防災重点ため池の選定作業を継続実施	防災重点ため池について、非常時に迅速かつ安全に避難するため、ハザードマップ作成等のソフト対策を支援（465箇所）		
農業水利施設	重要インフラ緊急点検対象施設（受益面積1,000ha以上）に準ずる施設として、受益面積500ha以上の農業水利施設について、操作・監視状況や老朽化の状況を点検	耐震化等の対策が必要な農業水利施設が判明	非常時にも農業用水の供給機能を確保するため、農業水利施設の改修・耐震化を前倒しで実施 （上田市 菅平地区 ほか2施設）	0	263
下水	下水道処理場、ポンプ場の耐震状況等に関する点検	地震時の最低限の処理機能等が確保されていない下水道施設、ポンプ場施設が判明	地震時の機能停止リスク低減策が必要で、かつ改築更新にあわせて行う必要がある下水道施設において対策を概ね完了 （安曇野市 犀川安曇野流域下水道終末処理場ほか1施設）	106	260
合計				24,562	32,055

※単位未満四捨五入により合計と内訳が一致しない箇所があります。